

アルミニウム上の亜鉛合金置換剤

アルジック 55

ALZICK 55

特長

- ①シアン化合物は一切使用していません。
- ②アルミ及びアルミ合金素地上に、密着性に優れた緻密な亜鉛合金皮膜を形成します。
- ③皮膜は均一で、析出ムラを生じません。
- ④無電解ニッケル及び電気ニッケルが直接めっきできます。
- ⑤3～5希釈で使用可能な為、経済的でしかも処理能力に優れています。

使用方法

	標 準	範 囲
濃 度	200mL/L	200～350mL/L
処理温度	22℃	15～27℃
処理時間	30～40秒	20～120秒
攪 拌	手動又は機械攪拌	
槽	樹脂ライニング槽	
加 熱	テフロン被覆ヒーター、石英ヒーター	
排気設備	必要ありません。	

処理後のめっき種

めっき種類	めっき法
電気ニッケル	半光沢、光沢浴とも直接めっき可能
無電解ニッケル	酸性浴は直接めっき可能
銅・真鍮	青化浴は直接めっき可能 硫酸銅は青化銅ストライクが必要
クロム	サージェント浴は直接めっき可能
亜鉛・銀	青化浴は直接めっき可能
スズ	硫酸浴は直接めっき可能

処理能力

通常作業の浸漬時間(30～60 秒)で、250～350dm²/Lの処理が可能です。ただし、ジンケート剤の処理能力はアルミニウム素材や形状及び作業条件等により大きく変化します。溶存アルミニウムの増加等により密着性が低下した場合は再建浴を行ってください。

株式会社 金属化工技術研究所

〒131-0043.墨田区立花 4-28-22. TEL03-3617-4600.FAX03-3617-4688

東京営業所：TEL03-3617-4602 大坂営業所：TEL06-6783-3449 名古屋営業所：TEL052-902-3810

分析・補給方法

処理液の濃度分析

- ①処理液 2 mL を 300 mL コニカルビーカーに正確に採取します。
- ②pH緩衝液 30 mL を加えます。
- ③EBT指示薬を滴下し、4%ホルマリン溶液を 10 mL 加えます。
- ④1/20M EDTAで滴定します。(終点：紫色)

補給方法

アルジック 55 の濃度を計算し、減少分を補給してください。

アルジック 55 濃度 (mL/L) = 滴定量 (mL) × 28.08 × f / 20M EDTA

(分析試薬)

pH緩衝液・・・アンモニア水 120mL/L, 塩化アンモニウム 18g/L

EBT指示薬・・・エリオクロムブラック T 0.5g、塩酸ヒドロキシルアミン 4g を 100mL のメチルアルコールに溶解する。

0.05M EDTA 滴定液

作業工程

下記の工程はアルミダイカスト(ADC12)上の無電解ニッケルめっき例です。アルミ素材は、高純度アルミからダイカストまで数多くの種類が存在します。処理はこれらの素材に適した作業条件を選択する必要があり、詳細に関しては当社営業部にご相談ください。

アルジック 55 は殆どの素材に対して良好なジンケート皮膜が得られます。

脱脂	エポクリンAL	50g/L
	温度	50℃
	時間	10分
水洗		
エッチング	硫酸	150g/L
	温度	55℃
	時間	90秒
水洗		
活性化	67%硝酸	500mL/L
	時間	10秒
水洗		
ジンケート	アルジック55	5倍希釈
	温度	25℃
	時間	40秒
水洗		
剥離	67%硝酸	300mL/L
	時間	15秒
水洗		
ジンケート	アルジック55	5倍希釈
	温度	25℃
	時間	20秒
水洗		
ニッケルめっき	無電解ニッケル	

株式会社 金属化工技術研究所

〒131-0043.墨田区立花 4-28-22. TEL03-3617-4600.FAX03-3617-4688

東京営業所：TEL03-3617-4602 大坂営業所：TEL06-6783-3449 名古屋営業所：TEL052-902-3810

取り扱い上の注意

強アルカリ溶液ですので、取り扱いには保護メガネ、ゴム手袋、保護衣類等を着用してください。
眼や皮膚に付着した場合は、流水で十分に洗浄した後、医師の処置を受けてください。
ご使用の前に MSDS を確認してください。

2012年5月21日改定

株式会社 金属化工技術研究所

〒131-0043.墨田区立花 4-28-22. TEL03-3617-4600.FAX03-3617-4688

東京営業所：TEL03-3617-4602 大坂営業所：TEL06-6783-3449 名古屋営業所：TEL052-902-3810